

# 未来自治体

全国大会 2017

極論を言え。

～あなたの住みたいまちでは、誰がどのように幸せですか？  
そして、誰の幸せを諦めますか？～

## 【 コンテスト概要 】

政策を実行してから効果が出るまで20年とされている。30年後に生産年齢の中心となるのは、20代の私たちだ。科学技術の発達などで予測困難な30年後の社会。多種多様な人がいる中で、政策を通して全ての人を幸せにすることは困難だろう。誰の幸せをあきらめ、誰の幸せを追及するのか？出場者はこの極限の問いに対し、どのような回答を示すのだろう。

答えのない問いに対する、出場者なりの答えとは…

その答えを目撃するのは、今このチランを手にとったあなた。

当日観戦にお越しになられた方には投票権が与えられ、実際の政策に投票することができます。

30年後は政策を考えた人のものではありません。

あなたも投票を通して意思表示をすることで、30年後の未来の創造に関わりませんか？

未来自治体全国大会地域予選（宮城県）

3/5 (日) 12:30開場

□場所

仙台市戦災復興記念館

□参加費

無料(先着50名様)

参加申込はコチラから↓



## 実行委員代表挨拶 Representative's greetings

未来自治体全国大会2017運営チーム代表の大川真司です。  
今年のテーマは

『極論を言え。～あなたの住みたいまちでは、誰がどのように幸せですか？  
そして、誰の幸せを諦めますか？』

です。30年後、日本の人口は1億人を切り、超高齢化社会を迎え、今ある半数以上の職業は無くなると

そこで、未来を作る当業者である若者が「あなたが住みたいまちはどこですか？」という問いに答えることで、自らが考える未来の価値観や幸せを社会に表明しよう、というのが本コンテストの趣旨です。そして大人が思いつきもしないような、大胆な政策を発することこそ、社会が求める若者らしさだと思います。皆さんのアイデアと思考力に期待しています！

未来自治体全国大会2017  
実行委員代表

大川真司

## 未来自治体2017の流れ

参加者は“Kick off”で、チームごとの自己紹介をはじめ、これからのプログラムの流れの把握と“理想のまち”について考えることを行いました。テーマに関して、「幸せとは何だろうか？」という答えのない問いに対し、それぞれの想いを模造紙に書き出し価値観の違いを共有しました。



1週間後に開催される地域予選に向け、政策や予算のブラッシュアップを行います。前回参加者からのフィードバックのほかに、自治体に詳しいゲストをお招きしご講評を頂く予定です。これまでに作成を行ってきた発表内容の質をさらに高めるにはどのようにするべきかを考えます。ここでの学びを反映し、3月5日開催の地域予選へ臨みます。



地域予選では、それぞれのチームが“30年後の理想のまち”を作っていくための「10年後の政策や予算」を発表します。参加者が1ヵ月以上をかけて作り上げた政策・予算プランをご覧になった観覧者の皆様による投票で、理想の自治体を決めてもらいます。

地域予選で勝利したチームは、二次予選へと駒を進め、3月18日に東京で開催される全国大会へは全国約170名から選ばれた5チームが出場をします。このチランを手にとったあなたも宮城県内のNo.1を決めるこの地域予選に投票をしてお越しいただくと幸いです。



▼NPO法人ドットジェイピー (<http://www.dot-jp.or.jp> 本部 東京都千代田区)

理事長 佐藤大吾、1998年創業。

全国22支部にエリア展開し、大学生約450人が中心となり「若年投票率の向上」を目的に活動するNPO法人。

累計約22,500人の参加者数を誇る「インターンシッププログラム（議員・グローバル）」をはじめ、

「未来国会」(<http://www.miraikokkai.com/>)、「未来自治体」(<http://www.miraijichitai.com/>) など

若年層を対象とした社会学習プログラムを提供。

また、国会議員データベース「政治ナビ」(<http://www.dot-jp.or.jp/seijinavi/>) の運営や議案情報提供など、活動は多岐に及ぶ。